



みどりの子

2月号

24. 2. 1

学校教育目標

進んで学ぶ人になろう ・ 心豊かな人になろう ・ 健康な人になろう

所沢市立荒幡小学校

荒幡小の子どもたち

校長 橋本 徳邦

最近、「荒幡小の子どもはすばらしい。」と思うことがよくあります。

学校だより12月号でお知らせした12月末の全校朝会での話の聞き方もそうですが、1月初めの全校朝会の際にも感心することがありました。全校朝会の会場の体育館に向かって階段を下りていくと、なんと、1年生が階段から下りてくる数人の上級生が通り過ぎるのを待っているのです。「道を譲っている」ということです。

小学校では、上級生に「1年生が通るのだから待ってあげなさい。」という指導はよくします。しかし、荒幡小の1年生は先に階段を下りてきた人（上級生）に「道を譲っている」のです。担任は子どもたちの最後に付き添っていましたから、先頭の子どもたちの判断です。

小学校の教員を29年間やっていますが、初めて見る光景です。「荒幡小の子どもたちって、すばらしいな。」と改めて思いました。

昨日の音楽朝会でも、2年生の「かえるの合唱・変奏曲」の演奏を全校の子どもたちが聞き入りました。音楽を表現することの価値を感じ取れる子どもたちが育ってきていると感じます。



【2月の開校30周年記念行事】

2月 5日（日） 第9回里山化事業（主に「野鳥とふれあう広場」の高木の剪定を行います。）

2月25日（土） 第9回親子読書読み聞かせ

●開校30周年記念事業も残り少なくなってきました。少しでも多くの方にご参加いただければ幸いです。